

気象庁キャンペーン資料

16 - 10

気象庁広報室編集

10 月の気象

10 月になるといよいよ秋たけなわとなってきます。上旬までは日本付近に秋雨前線が停滞し、曇りや雨の日が多くなります。中旬以降は移動性高気圧と低気圧が交互に日本を通過するようになり、天気は周期的に変わります。また、特に北日本は、月の初めから終わりにかけて平均気温が大きく下がるので、季節が大きく変わる時期といえます。

10 月 10 日、旧体育の日

昭和 39 年 10 月 10 日、東京オリンピックの開会式が行われました。夏季オリンピックとしては異例ともいえる遅い開幕でした。東京の夏は高温・多湿であること、10 月上旬までは秋雨前線が停滞すること、さらには 10 月 10 日が晴れの特異日（過去、統計的に晴れが多かった日）であること等を考慮して日程が決められました。その結果、開会式当日は移動性高気圧に覆われて運動には絶好の天気にも恵まれました。

東京オリンピック開会式を記念して 10 月 10 日は「体育の日」として昭和 41 年に国民の祝日に制定されました。体育の日は平成 12 年の「国民の祝日に関する法律」の改正（いわゆるハッピーマンデー制度の導入）により 10 月第 2 月曜日となりました。ちなみに、東京で体育の日に 1mm 以上の雨が降った回数は、10 月 10 日に固定されていた昭和 41 年から平成 11 年までの 34 年間で 5 回、10 月第 2 月曜日となった平成 12 年から 15 年までの 4 年間で 3

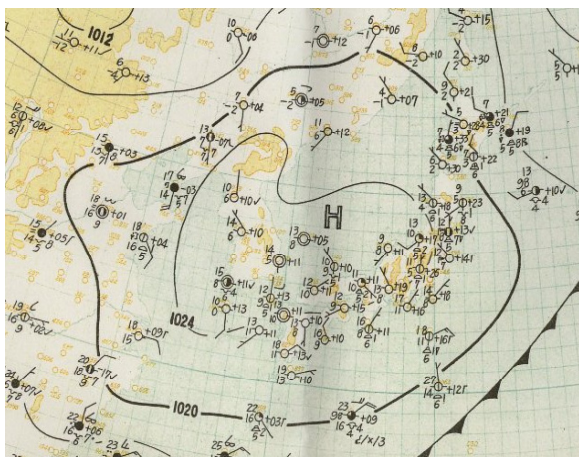


図 昭和 39 年 10 月 10 日 21 時の地上天気図
日本列島はすっぱりと高気圧に覆われている

回となっています。今年の体育の日は 11 日です。はたして、どんな天気になるのでしょうか。

寒露・霜降

太陽の動きによって 1 年を 24 等分し、季節名をつけたものを二十四節気と呼びます。8 日はその一つである寒露（かんろ）、23 日は同じく霜降（そうこう）にあたります（年によって若干ずれることがあります）。寒露は露が冷たく感じられる頃、霜降は霜の降りる頃という意味です。

晴れて風の弱い夜間には、地表面の熱が奪われる「放射冷却現象」のため、気温が大きく下がり、結露や霜の原因となります。これによって、10 月には北日本のみならず、関東より南の地方でも内陸部からも初霜の便りが届きはじめます。

この時期、気象庁では早霜による農作物の著しい被害を防ぐ目的で「霜注意報」を発表します。

表 各地の霜の初日の平年値（統計期間 1971～2000 年）

旭川	10 月 7 日	盛岡	10 月 18 日
札幌	10 月 22 日	山形	10 月 24 日
釧路	10 月 16 日	長野	10 月 26 日
函館	10 月 17 日	宇都宮	10 月 28 日
青森	10 月 23 日	軽井沢	10 月 16 日

台風

日本に上陸する台風の数には 8 月、ついで 9 月、7 月の順に多く、この 3 か月で全上陸数の約 85% を占めます。10 月になると、台風は本州の南の海上を通ることが多くなりますが、太平洋高気圧の勢力が強い場合、日本に接近、上陸することがあります。1951 年から 2003 年までで 10 月の台風の日本への上陸数は 11 個であり、約 5 年に 1 個の割合で上陸しています。昭和 54 年の台風第 20 号（19 日和歌山県に上陸）では死者・行方不明者 111 名、昭和 26 年の台風第 15 号（14 日鹿児島県に上陸）では同 943 名といった大きな被害をもたらしたこともあります。10 月になっても台風への備えを怠ることはできません。

津波防災広報用ビデオ (CD-ROM) 「津波から命を守るために！」

制作の目的

平成 15 年に発生した十勝沖地震や平成 14 年に発生した沖縄近海の地震では、津波警報や注意報が発表されたにもかかわらず、津波の様子を見るために海岸に近づく人などの事例がありました。このような行為は非常に危険です。そこで、気象庁は、津波の恐ろしさを伝えるとともに、津波の事例や発生のしくみをわかりやすく説明し、迅速な避難行動を促すための広報用ビデオ (CD-ROM)「津波から命を守るために！」を作成しました。

概要

「ツナミ博士」と女性アシスタント「さちよクン」との会話をベースに話が展開されます。構成は以下のとおりです。

1. オープニング

過去の津波被害の映像や写真

2. 津波被害国日本

日本における過去の津波被害の映像と説明 (1983年 日本海中部地震、1993年 北海道南西沖地震等)

3. 津波体験

大津波のCG (コンピュータグラフィックス) 映像による津波体験や実験装置を用いた津波のすがた、50cm 程度の津波による被害写真

4. 津波の説明

津波の発生のしくみと津波の特徴についての説明

5. 津波に対する注意

津波から命を守るためにとるべき対応

6. エンディング

津波に対する注意の再確認

ポイントとしては、小学生でも集中力が続くと思われる17分という時間にしたこと、実

津波から命を守るために!



図1 「津波から命を守るために！」のジャケット

際の津波の速度を基本に津波が迫ってくる映像を真正面から見た場合のCG映像を通して津波のこわさを体感してもらうこと、避難することの大切さを繰り返したこと、などがあげられます。

CD-ROMの配布

このCD-ROMは、各地方気象台等を通して、全都道府県および全市町村に配布されます。

また、(財)気象業務支援センター(03-5281-0440)で500円(税込)で販売されています。

この気象庁のホームページ(<http://www.kishou.go.jp/books/tsunami/tsunami.html>)で、ビデオの一部をダウンロードしてご覧になれます。



図2 ツナミ博士とさちよクン